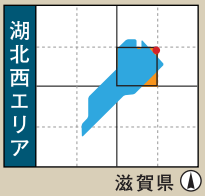
史跡
県指定

姫塚古墳（ひめづかこふん）

高月町東柳野　昭和57年3月31日指定



姫塚古墳は、横山神社古墳（学習シートNo.065）、父塚古墳などの古墳で構成される、物部古墳群の一画を占めています。最近まで前方後円墳と考えられていましたが、平成13年度に行われた調査の結果、県下最大規模の前方後方墳であることがわかりました。

当時のできごと	
364年	朝鮮半島で、高句麗、百済、新羅の対立が激化
372年	百済の肖古王、倭に七支刀などを贈る
391年	倭軍、百済、新羅軍を破る

物部古墳群について

姫塚古墳が属する物部古墳群は、高月町の平野部に広がり、横山神社古墳（学習シートNo.065）、父塚古墳、瓢塚古墳、兵主神社古墳、物部大将軍塚古墳、生塚古墳などの前方後方墳、前方後円墳、円墳からなります。このうち、姫塚古墳の南約1㎞のところにある父塚古墳は、直径が約40ｍの4世紀代に築造された大型円墳と考えられていますが、最近の調査で周濠の形が屈曲する可能性のあることがわかってきており、大型の前方後円墳である可能性も出てきました。このように、この古墳群に関しては、あまり調査が進んでいないため、その性格にはまだ不明の部分が多いのが実情で、今後の発掘調査の進展に伴い、古墳群の構成の見直しが必要になってくると考えられます。



直線的にのびる葺石

姫塚古墳について

姫塚古墳は、全長が70m前後の前方後円墳と考えられていましたが、平成13年度に行った発掘調査の結果、後円部と考えられていた部分の墳丘の裾の部分から、直線的に延びる葺石の列が確認され、さらに、前方部と後円部との屈曲部からも直線的に折れ曲がる葺石列が確認されました。これらの調査結果は、姫塚古墳が、前方後方墳であることを示しています。この調査結果を踏まえた姫塚古墳の規模は、全長が80m前後、周濠を含めると全長が115m～120m程もある、県内では最大規模の前方後方墳となります。

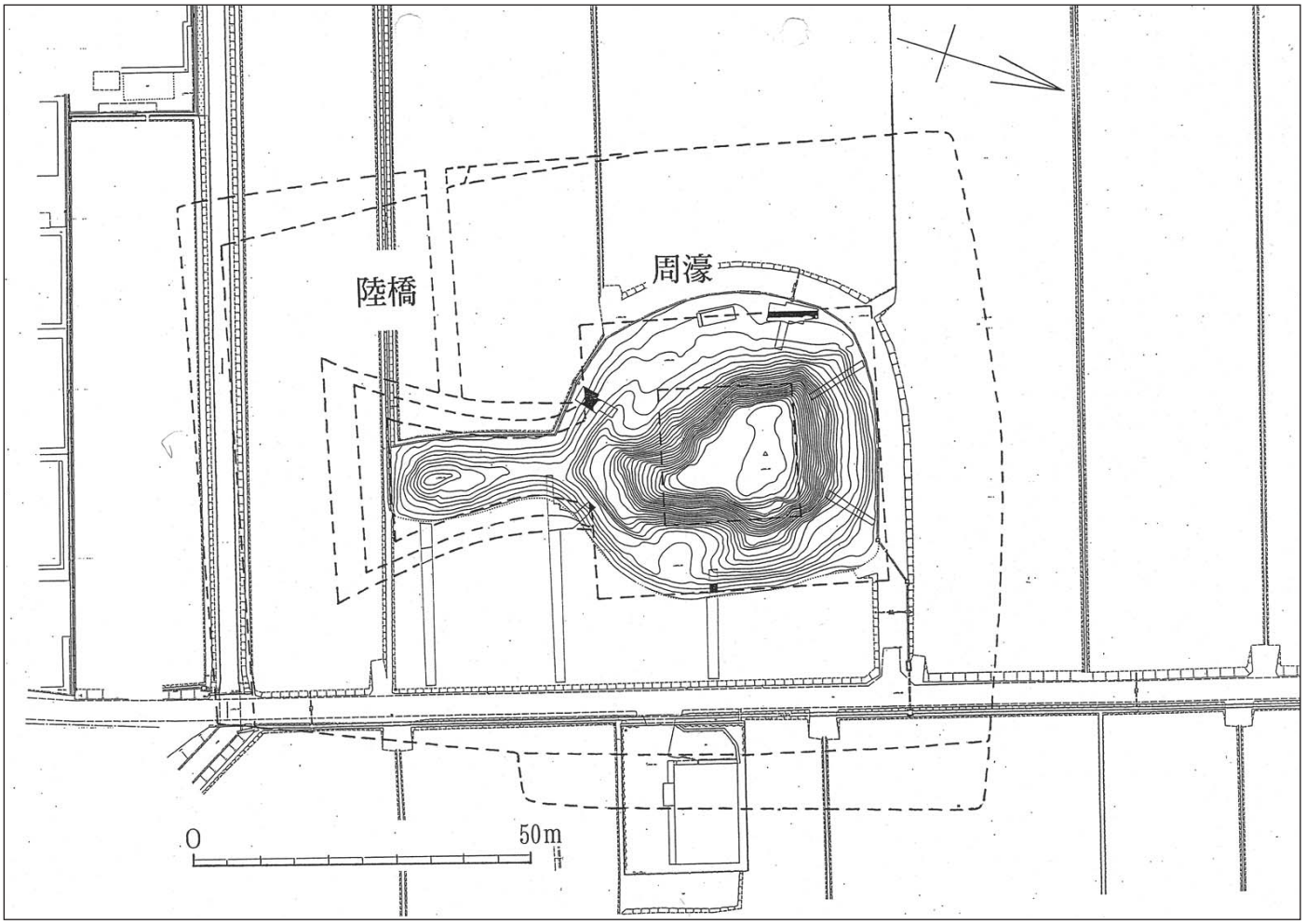
古墳の築造年代は、墳丘形や葺石から4世紀中頃までに築造されたと考えられ、古い段階で平地に築かれた前方後方墳として注目されます。



姫塚古墳全景



姫塚古墳全景



姫塚古墳推定復元図

湖北の前方後方墳

姫塚古墳の周辺は、これまでの調査で、国内最古級の小松古墳や大森古墳を始めとする、11基もの前方後方墳が確認されており、国内でも最も前方後方墳が集中して築造された地域の一つとなっています。また、姫塚古墳の西の丘陵上に立地する古保利古墳群（学習シートNo.037）の中には、4世紀前葉まで遡る可能性のある前方後円墳が含まれているにもかかわらず、相前後する時期に、平野部に姫塚古墳のような前方後方墳が築造されており、古墳の形と、政治的な勢力の関係を考える上で、非常に興味深い歴史的な現象を表しています。

関連する文化財

小松古墳（古保利古墳群）（高月町）	学習シートNo.037
父塚古墳（高月町）	姫塚古墳の南にあるほぼ同時期の古墳。前方後円墳の可能性がある
神郷亀塚古墳（能登川町）	学習シートNo.075

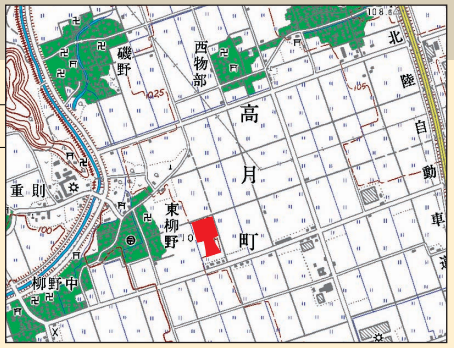
もっと深く知りたい

高月町教育委員会　☎0749-85-3111　伊香郡高月町渡岸寺160

安土城考古博物館　☎0748-46-2424　蒲生郡安土町下豊浦6678

姫塚古墳へのアクセス

JR北陸本線　高月駅下車
北陸自動車道　木之本インター



【参考文献】〔近江の遺跡〕（財）滋賀県文化財保護協会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月